

オーストラリアレポート

豪州の貿易黒字を支える資源輸出とインバウンド消費

- 豪州の2月の貿易収支は市場予想を上回る黒字となる。資源輸出の拡大と旅行サービス収支の黒字が寄与。
- 豪州の主要輸出資源である鉄鉱石と石炭は、中国での資源需要増大による市況上昇が輸出金額を押し上げ。
- 液化天然ガス（LNG）プロジェクトが生産段階へ移行することで、豪州の天然ガス輸出は一段の拡大が予想される。
- 外国人旅行者の豪州でのインバウンド消費が拡大基調。2016年は豪州への外国人訪問者数は過去最高を更新。

2月の貿易収支は市場予想上回る黒字となる

豪州の2017年2月の貿易収支（財・サービス収支）は、市場予想（+19.0億豪ドル）を上回る35.7億豪ドルの黒字となりました。貿易黒字は2016年11月から4カ月連続となり、豪州の貿易黒字が定着化しつつあります（図1）。

2月の貿易収支の内訳を見ると、①財収支が+35.9億豪ドル、②旅行サービス収支が+9.7億豪ドル、③その他サービス収支が-9.9億豪ドル、となりました。足元では、資源輸出の拡大と旅行サービス収支の安定的な黒字が貿易黒字に寄与しています。

鉄鉱石、石炭、天然ガスなどの資源輸出が拡大

豪州の主要輸出資源である鉄鉱石、石炭、天然ガスの輸出は2016年以降、揃って拡大傾向に転じました（図2）。2017年2月の鉄鉱石輸出は前年比53.0%増の53.9億豪ドル、石炭輸出は同75.9%増の42.6億豪ドル、天然ガス輸出は同27.6%増の18.2億豪ドルへ拡大しました。

市況上昇が鉄鉱石・石炭の輸出金額を押し上げ

特に鉄鉱石と石炭の輸出に関しては、2016年後半以降の市況上昇が輸出金額の押し上げに大きく寄与したと考えられます。中国青島港の鉄鉱石スポット価格は2016年央の1トン当たり50米ドル台の水準から、2017年3月には一時90米ドル台の水準まで上昇しました。豪州ニューキャッスル港の石炭スポット価格（一般炭）も、2016年11月には110米ドル近辺まで急上昇し、足元でも80米ドル前後の高水準が維持されています（図3）。

足元で資源価格が上昇している背景には、中国で政府主導のインフラ投資が活発化していることや、中国政府が国内の製鉄所に対して過剰生産能力の縮小と高い環境効率を求め、中国産に比べて鉄含有量の多い豪州産の鉄鉱石への需要が高まっていることなどが挙げられます。

図1：豪州の貿易収支

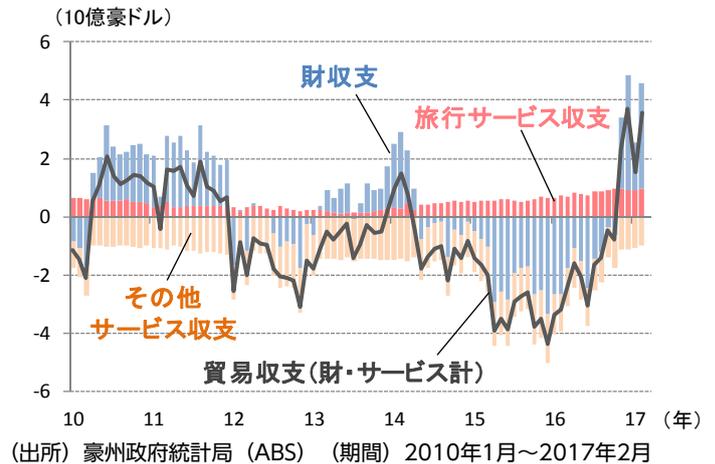


図2：豪州の主要資源の輸出金額

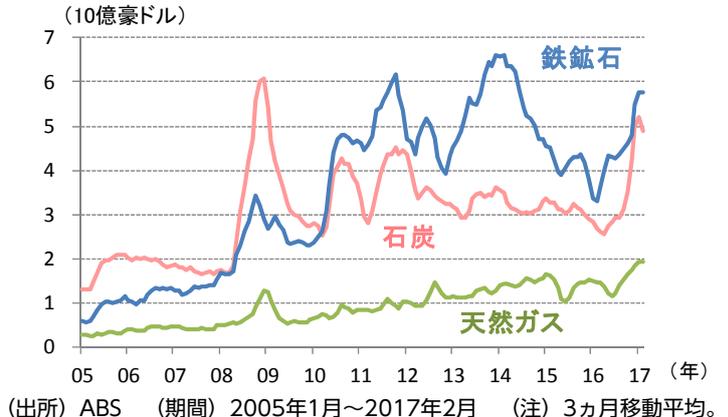


図3：鉄鉱石と石炭のスポット価格

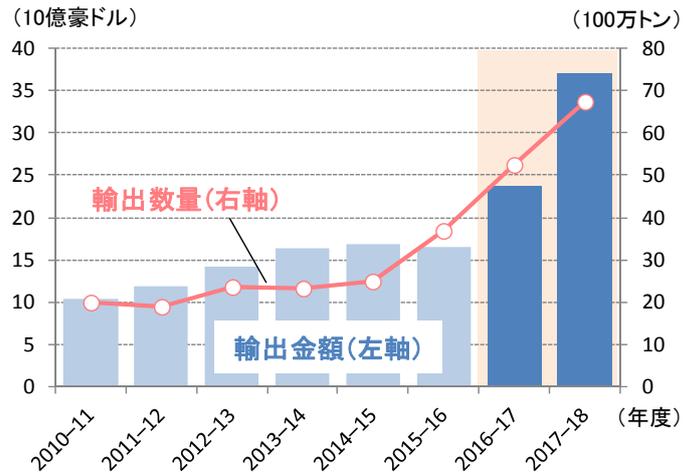


●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的としてレグ・メイソン・アセット・マネジメントの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

図4：豪州の液化天然ガス（LNG）輸出

今後の拡大が見込まれる液化天然ガス輸出

また、豪州の第三の輸出資源である天然ガスは、これまで開発段階にあった液化天然ガス（LNG）プロジェクトが生産段階に移行することで輸出の拡大が見込まれます。豪産業科学省が2016年12月に公表した報告書によれば、豪州のLNG輸出は2015-16年度の3,685万トン（166億豪ドル）から、2017-18年度には6,729万トン（370億豪ドル）へ大幅な拡大が予想されています（図4）。



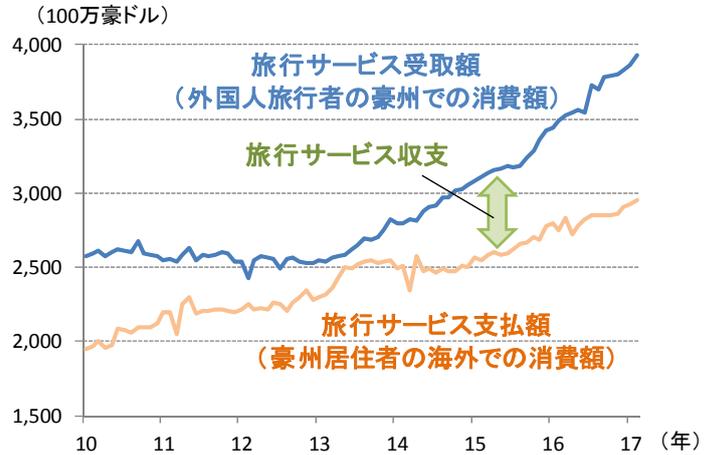
(出所) 豪産業科学省
(注) 年度は7月～翌年6月。2016-2017年度以降は豪政府予想。

外国人旅行者によるインバウンド消費が拡大

一方、サービス収支に目を転じると、豪州の旅行サービス収支の安定した黒字は、近年の外国人旅行者による豪州での消費拡大によって主導されています。

旅行サービス受取額は、豪州に滞在中の外国人旅行者（留学生含む）が消費した宿泊費や飲食費、娯楽費、現地交通費、土産物代などいわゆるインバウンド消費を集計したものです。一方、旅行サービス支払額は豪州居住者による海外での消費額（アウトバウンド消費）を示します。近年は豪州居住者のアウトバウンド消費よりも外国人旅行者によるインバウンド消費が上回る傾向にあります（図5）。

図5：豪州の旅行サービス収支



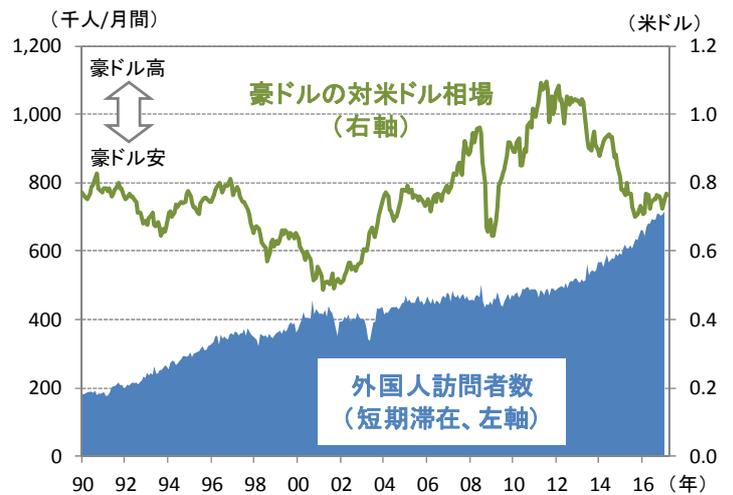
(出所) ABS (期間) 2010年1月～2017年2月

2016年の外国人訪問者数は過去最高を更新

2013年以降、外国人旅行者による豪州での消費額が増加基調に転じたことは、近年の豪州への外国人訪問者数の増加とも概ね整合的です。

豪州への短期滞在の外国人訪問者数は、豪ドル相場が下落に転じた2012年以降、安定した増加傾向に転じました（図6）。もっとも、2016年は豪ドル相場が概ね横ばいで推移する中でも、豪州への外国人訪問者数（短期滞在）は過去最高の826万人（前年比+11%増）に達しました。

図6：豪ドル相場と豪州への外国人訪問者数（月次）



(出所) ABS (期間) 1990年1月～2017年1月（為替は3月）
(注) 季節調整済。短期滞在は12ヵ月未満の滞在。

貿易黒字の定着化が豪ドル相場の安定に寄与へ

以上のように、豪州の貿易黒字は、①中国での需要拡大に支えられた鉄鉱石・石炭価格の上昇、②LNGプロジェクトの開発段階から生産段階への移行、③外国人旅行者によるインバウンド消費の拡大、など複数の要因に下支えされていると言えます。今後、貿易黒字の定着化が進めば、豪州の経常赤字の改善を通じて、豪ドル相場の安定に寄与すると期待されます。

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的としてレグ・メイソン・アセット・マネジメントの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。